

2024年度 愛知学泉大学シラバス

| シラバス番号 | 科目名 | 担当者名 | 実務経験のある教員による授業科目 | 基礎・専門別 | 単位数 | 選択・必修別 | 開講年次・時期 |
|-----------|--|------|------------------|--------|-----|--------|---------|
| 330421097 | 外国語(英語)教育法 Teaching Methods (English) | 小倉弘之 | | | 2 | 必修 | 2前期 |

科目の概要

2020年度より、小学校で教科としての外国語教育が始まり、従来5・6年生で行っていた「外国語活動」を3・4年生で実施し、5・6年生で「外国語科」が新たに導入されました。我が国における英語教育の早期化と高度化が進む中で、教科や小学生の特性を踏まえた上で効果的な指導が必要となります。本講座では、小学校学習指導要領を理解し、学級担任として、責任を持って質の高い「外国語活動」「外国語」の授業を展開できるよう、理論を知り模擬授業での実践を通して指導力を身に付けます。(DP③)

| 学修内容 | 到達目標 |
|--|--|
| ① 「外国語活動」の目的と内容を理解する。 ② 「外国語」の目的と内容を理解する。 ③ 「外国語活動」の理論と指導法を学ぶ。 ④ 「外国語」の理論と指導法を学ぶ。 | ① 「外国語活動」の目的と内容を説明することができる。 ② 「外国語」の目的と内容を説明することができる。 ③ 「外国語活動」の理論と指導法を知り、実践することができる。 ④ 「外国語」の理論と指導法を知り、実践することができる。 |

| 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 | 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例 | |
|---------------------|---------------------------|--|
| 前に踏み出す力 | 主体性 | 到達目標に向けた課題を行うのに必要な知識について、教科書や参考文献を活用し自己学習することができる。 |
| | 働きかけ力 | |
| | 実行力 | 目標達成に向けて課題を最後までやり抜くことができる。 |
| 考え抜く力 | 課題発見力 | 講義や文献、グループ活動等で得た情報を客観的に整理し、課題を見出すことができる。将来、指導者になるために自分にとって身に付けるべき知識、学習項目を発見することができる。 |
| | 計画力 | |
| | 創造力 | 効果的な指導方法や教材、指導案を考案し、作成することができる。指導者になるために必要な知識、学習項目を身に付けるための学習方法を工夫することができる。 |
| チームで働く力 | 発信力 | 調べたり、考えたり、話し合ったりしたことを的確な表現で発表することができる。 |
| | 傾聴力 | 講義や発表に集中力をもって耳を傾け、グループ活動では他の人の意見に耳を傾けることができる。 |
| | 柔軟性 | |
| | 状況把握力 | |
| | 規律性 | 無断欠席、遅刻、私語などをせず、授業に集中することができる。グループ活動では目標達成に向けて協力的に参加し貢献する。課題等を決められた期日に提出できる。 |
| | ストレスコントロール力 | |

テキスト及び参考文献

- ・Blue Sky elementary 5・6 (新興出版社啓林館)
- ・小学校学習指導要領解説 外国語活動・外国語編 (文科省)
- ・外国語活動・外国語研修ガイドブック (文科省) (Google Classroom で提示する)
- ・他は適宜資料を配布する

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：本講座は小学校領域の教科及び教科の指導法に関する科目の一部であり、「小学校英語」で身に付けた英語に関する知識を基盤とし、さらに実践的スキルを習得する。また、その後に履修する「児童英語」で知識と技術をより専門的に深め、習得する。

資格との関連：小学校教諭1種免許状

| 学修上の助言 | 受講生とのルール |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・必ず事前に配布された資料に目を通すなど、指示された予習課題を実施してください。 ・常に指導者としての視点を忘れずに学習に取り組んでください。 ・自らの英語運用力向上のため、指示に関わらず積極的に英語学習に取り組ましましょう。特にClassroom Englishは自在に使いこなせることを目標に繰り返し声に出して練習しましょう。 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業に参加していないと判断した場合は、欠席扱いとなります。 ・スマホの使用は指導者が使用を指示した場合以外は、基本的に禁止とします。 ・テキストは必ず用意すること。 ・授業で配布したプリントが欠席等でプリントがない場合は、友達にコピーさせてもらうか研究室に取りに来るなど、事前に手に入れて授業に臨むこと。 ・20分以上の遅刻は欠席扱い、3回の遅刻で1回の欠席扱いとなります。 ・遅刻した時は、必ず理由を説明してから着席すること。 |

【評価方法】

| 評価対象 | 評価方法 | | 評価の割合 | 到達目標 | 各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント | | |
|-----------------------|--------------|--------------------|-------|------|---------------------------------|--|--|
| 学修成果 | 学期末試験 | 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験 | 0 | ① | | | |
| | | | | ② | | | |
| | | | | ③ | | | |
| | | | | ④ | | | |
| | | | | | | | |
| | 平常評価 | 小テスト | | 0 | ① | | |
| | | | | | ② | | |
| | | | | | ③ | | |
| | | | | | ④ | | |
| | | | | | | | |
| レポート | | | 70 | ① | ✓ | | |
| | | | | ② | ✓ | | |
| | | | | ③ | ✓ | | |
| | | | | ④ | ✓ | | |
| | | | | | | | |
| 成果発表（プレゼンテーション・作品制作等） | | 20 | ① | ✓ | | | |
| | | | ② | ✓ | | | |
| | | | ③ | ✓ | | | |
| | | | ④ | ✓ | | | |
| | | | | | | | |
| 学修行動 | 社会人基礎力（学修態度） | 10 | ① | ✓ | | | |
| | | | ② | ✓ | | | |
| | | | ③ | ✓ | | | |
| | | | ④ | ✓ | | | |
| | | | | | | | |
| 総合評価割合 | | | 100 | | | | |

【到達目標の基準】

| 到達レベルS(秀)及びA(優)の基準 | 到達レベルB(良)及びC(可)の基準 |
|---|--|
| <p>S (優) 授業準備を怠らず、欠席せずルールを守り授業に積極的に参加し、レポート、成果発表合計で90%以上の得点ができる。</p> <p>A (秀) 授業準備を怠らず、欠席せずルールを守り授業に積極的に参加し、レポート、成果発表合計で80%以上の得点ができる。</p> | <p>レベルB (良) 授業にルールを守り積極的に参加し、レポート、成果発表合計で70%以上得点できる。</p> |

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|---|---|---|--|--|-------|---|
| 1 | オリエンテーション グループ編成 小学校において、ことば、その中でも外国語を学ぶことの意義と有効な方法について考える。 | 講義 前時の振り返りに対するフィードバック ディスカッション グループワーク | ことば、外国語を学ぶことの意義と有効な方法について、理論を基に自分なりの考え方を説明できる。 | (予習) 予習課題を行う。 (復習) 授業を振り返り、ポイントをまとめ、自分なりの考えをレポートにまとめる。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 2 | 小学校学習指導要領から小学校・外国語科(外国語活動)の指導目標、内容や方法を概観し、構造的に理解する。 | 講義 前時の振り返りに対するフィードバック ディスカッション グループワーク | 外国語科・外国語活動の指導目標、指導内容や方法のポイントを説明できる。 | (予習) 予習課題を読み Discussion Topicについて考えをまとめる。 (復習) 授業を振り返り、ポイントをレポートにまとめる。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 3 | 外国語教育における小中高の接続と小学校の役割について考える。 | 講義 前時の振り返りに対するフィードバック ディスカッション グループワーク | 外国語教育における小学校の役割について説明することができる。 | (予習) 予習課題を読み Discussion Topicについて考えをまとめる。 (復習) 授業を振り返り、ポイントをレポートにまとめる。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 4 | 指導体制の充実(担任中心の授業と効果的なTT)について考える。 | 講義 前時の振り返りに対するフィードバック ディスカッション グループワーク | 効果的なTT、そしてその中での担任の効果的な役割について説明できる。 | (予習) 予習課題を読み Discussion Topicについて考えをまとめる。 (復習) 授業を振り返り、ポイントをレポートにまとめる。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 5 | 小学校教員に求められ英語力について考える。 | 講義 前時の振り返りに対するフィードバック ディスカッション グループワーク | 外国語(英語)を指導していくために必要な英語力について理論を基に自分の考えを説明できる。 | (予習) 予習課題を読み Discussion Topicについて考えをまとめる。 (復習) 授業を振り返り、ポイントをレポートにまとめる。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 6 | 音声によるインプットのあり方について考える。 | 講義 前時の振り返りに対するフィードバック ディスカッション グループワーク | 音声によるインプットのあり方について、理論を基に自分の考えを説明できる。 | (予習) 予習課題を読み Discussion Topicについて考えをまとめる。 (復習) 授業を振り返り、ポイントをレポートにまとめる。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 7 | 音声によるアウトプットのあり方について考える。 | 講義 前時の振り返りに対するフィードバック ディスカッション グループワーク | 音声によるアウトプットのあり方について、理論を基に自分の考えを説明できる。 | (予習) 予習課題を読み Discussion Topicについて考えをまとめる。 (復習) 授業を振り返り、ポイントをレポートにまとめる。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 8 | 言語使用を通じた言語習得(言語活動の充実～目的・場面・状況を踏まえて)について考える。 | 講義 前時の振り返りに対するフィードバック ディスカッション グループワーク | 言語使用を通じた言語習得の効果的なあり方について、理論を基に自分の考えを説明できる。 | (予習) 予習課題を読み Discussion Topicについて考えをまとめる。 (復習) 授業を振り返り、ポイントをレポートにまとめる。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|----|---|---|---|---|-------|---|
| 9 | 文字言語との出会わせ方や読む活動・書く活動への導き方について学ぶ。 | 講義 前時の振り返りに対するフィードバック ディスカッション グループワーク | 文字言語との出会わせ方やそこからの読む・書く活動への展開の仕方等について説明できる。 | (予習) 予習課題を読みDiscussion Topicについて考えをまとめる。 (復習) 授業を振り返り、ポイントをレポートにまとめる。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 10 | 学習状況の評価、題材の選定、指導計画、ICTの活用方法について学ぶ。 | 講義 前時の振り返りに対するフィードバック ディスカッション グループワーク | 学習状況の評価、題材の選定、指導計画、ICTの活用方法等について説明できる。 | (予習) 予習課題を読みDiscussion Topicについて考えをまとめる。 (復習) 授業を振り返り、ポイントをレポートにまとめる。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 11 | 指導案作成方法について学ぶ。 ・指定された題材の指導案を書く。 ・作成した指導案の評価(ペアまたはグループワーク) | 講義 前時の振り返りに対するフィードバック 演習 ペアまたはグループワーク | 指導案の作成方法を理解し、実際に書くことができる。 指導案を評価することができる。 | (予習) 予習課題を読み指導案作成に向け、教材分析を行う。 (復習) ペア、またはグループからのフィードバックをもとに、作成した指導案をよりよいものに仕上げる。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 12 | 模擬授業(1) 模擬授業準備 模擬授業の評価 模擬授業の振り返り | 模擬授業、グループ活動、発表 | ・これまでに獲得した知識を活用した模擬授業ができる。 ・他のグループの模擬授業を評価できる。 ・自己の模擬授業を振り返ることができる。 | (予習) 模擬授業準備、練習 (復習) 模擬授業を振り返り、PCRシートをまとめる。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 13 | 模擬授業(2) 模擬授業準備 模擬授業の評価 模擬授業の振り返り | 模擬授業、グループ活動、発表 | ・これまでに獲得した知識を活用した模擬授業ができる。 ・他のグループの模擬授業を評価できる。 ・自己の模擬授業を振り返ることができる。 | (予習) 模擬授業準備 (復習) 模擬授業の振り返り、PCRシートをまとめる。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 14 | 模擬授業(3) 模擬授業の評価 模擬授業の振り返り | 模擬授業、グループ活動、発表 | ・これまでに獲得した知識を活用した模擬授業ができる。 ・他のグループの模擬授業を評価できる。 ・自己の模擬授業を振り返ることができる。 | (予習) 模擬授業準備 (復習) 模擬授業の振り返り、PCRシートをまとめる。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 15 | 【オンデマンド】 これまでの学修内容を振り返り、小学校外国語指導について自らの理念や考えをまとめる。 | オンデマンドによる講義、それを視聴してのレポート作成 | これまでの学修を振り返り、外国語指導における重要な点や今後自分が努力していく点について明確にすることができる。 | (予習) 予習課題を読みDiscussion Topicについて考えをまとめる。 (復習) レポートを作成する(提出)。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力